

# *TELstaff*<sup>®</sup>

## インストールガイド

*TELstaff* AE Professional Edition

*TELstaff* AE Standard Edition

*TELstaff* AE Client

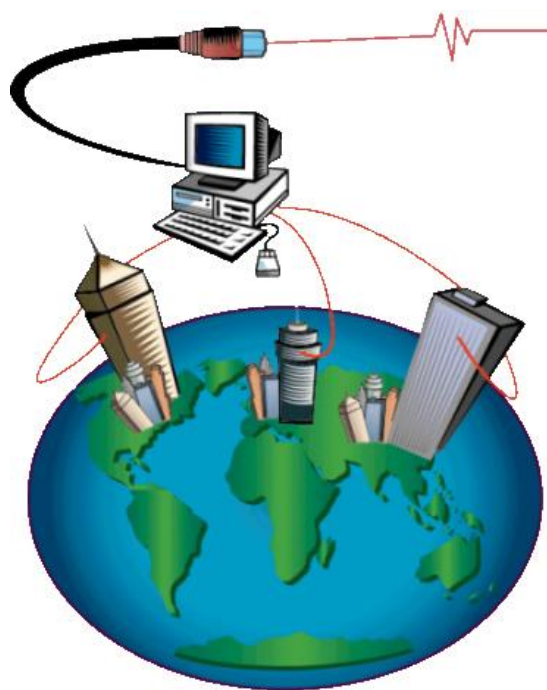
*TELstaff* Enterprise<sup>®</sup>

HP-UX

Solaris

Linux

*TELstaff* Professional





このマニュアルは、次に示すソフトウェア製品の発行によって、T203-7-001-AE5C として発行するものです。

製品	バージョン	適用 OS 種別
TELstaff AE Professional Edition	05-12 以降	Windows
TELstaff AE Standard Edition	05-12 以降	Windows
TELstaff AE Client	05-12 以降	Windows
TELstaff Enterprise	07-00 以降	HP-UX, Solaris
TELstaff Enterprise for IPv6	07-00 以降	HP-UX, Solaris
TELstaff Enterprise for RHEL	08-02 以降	RHEL, CentOS
TELstaff Professional for RHEL	08-02 以降	RHEL, CentOS

<このマニュアルでの表記について>

このマニュアルでは、次のように表記しています。

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition 又は Windows Server® 2003 Standard Edition, 又は Windows Server® 2003 R2, Standard Edition 又は Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition を Windows Server 2003 と表記します。

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Enterprise Edition 又は Microsoft® Windows Server® 2008 Standard Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2008 R2, Standard Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2008 Standard x64 Edition, 又は Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise x64 Edition を Windows Server 2008 と表記します。

Microsoft® Windows Server® 2012 Standard, 又は Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard, Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter , Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter を Windows Server 2012 と表記します。

Windows Vista® Ultimate, 又は Windows Vista® Business, 又は Windows Vista® Enterprise を Windows Vista と表記します。

Windows® 7 Ultimate, 又は Windows® 7 Professional, 又は Windows® 7 Enterprise を Windows 7 と表記します。

Windows® 8, 又は Windows® 8.1, Windows® 8 Pro, Windows® 8.1 Pro, Windows® 8 Enterprise, Windows® 8.1 Enterprise を Windows 8 と表記します。

Windows Server 2003, Windows Server 2008, Windows Server 2012, Windows Vista, Windows 7 および Windows 8 を総称して Windows と表記することがあります。

Windows Server 2003, Windows Server 2008 および Windows Server 2012 を総称して Windows Server と表記することがあります。

Red Hat Enterprise Linux を RHEL と表記します。

Community ENTERprise Operating System を CentOS と表記します。

TELstaff Enterprise, TELstaff Enterprise for IPv6 を総称して TELstaff Enterprise と表記します。

TELstaff AE Professional Edition, TELstaff AE Standard Edition, TELstaff AE Client および TELstaff Enterprise を総称して TELstaff と表記することがあります。

HP Network Node Manager software, 又は 日立 JP1/Cm2/Network Node Manager を NNM と表記します。

遠隔監視呼び出しシステム TriggerPhone をトリガフォンと表記しています。また、遠隔監視呼び出しシステム TriggerPhone TP1000/Ⅱをトリガフォン・モデルⅡと表記しています。トリガフォンとトリガフォン・モデルⅡを総称してトリガフォンと表記することがあります。

# 目 次

1. TELstaff の動作環境 .....	1
1.1 Windows 環境 .....	1
1.1.1 TELstaff AE Professional Edition / AE Standard Edition / AE Client .....	1
1.1.2 音声合成ソフトウェアを利用する場合の動作環境 .....	2
1.2 UNIX/Linux 環境 .....	2
1.2.1 TELstaff Professional for RHEL .....	2
1.2.2 TELstaff Enterprise .....	3
1.2.3 IPv6 通信環境での注意事項 .....	4
1.2.4 IP 電話発信を利用する場合の注意事項 .....	4
2. TELstaff の最新情報について .....	5
3. Windows 対応 TELstaff のインストール .....	6
3.1 インストールの開始 .....	6
3.2 「TELstaff インストーラ」ダイアログボックス .....	6
3.3 Windows の設定 .....	10
3.4 バージョンアップ .....	17
3.5 上書きインストール .....	17
3.6 アンインストール .....	17
4. UNIX/Linux 対応 TELstaff のインストール .....	19
4.1 インストール .....	19
4.2 英語環境でご使用するには .....	20
4.3 上書きインストール .....	20
4.4 アンインストール .....	21
5. ユーザー登録方法 .....	22
6. その他のセットアップ .....	23
6.1 ダイアルアップ接続の構成設定 .....	23
6.2 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- PHN-S をご使用の場合 .....	23
6.2.1 ファームウェアの更新 .....	23
6.2.2 メッセージ表示ボードで使用する場合の設定方法 .....	23
6.2.3 接点入力ユニットで使用する場合の設定方法 .....	23
6.3 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- IT-C10RE をご使用の場合 .....	24
6.3.1 信号灯・回転灯・メッセージ表示ボードで使用する場合 .....	24
6.3.2 接点入力ユニットで使用する場合 .....	25
6.4 ネットワーク対応型パトランプの設定 .....	27
6.4.1 ファームウェアの更新 .....	27
6.4.2 設定方法 .....	27
6.5 NH シリーズパトランプの設定 .....	27
6.5.1 ファームウェアの更新 .....	27
6.5.2 設定方法 .....	27
6.6 ISA 社製信号灯の設定 .....	28
6.6.1 ファームウェアの更新 .....	28
6.6.2 設定方法 .....	28
6.7 トリガフォンのご使用準備 .....	28
6.8 接点入力ユニット (PW-501) のご使用準備 .....	29
6.9 メッセージ表示ボードのご使用準備 .....	30
6.10 UNIX/Linux で RS232C を使用する場合の準備 .....	31
7. メッセージ .....	33



# 1. TELstaff の動作環境

ここでは、TELstaff の動作環境、必要なハードウェア、ソフトウェアなどについて説明します。

動作環境の最新情報については、日立ソリューションズ@Service24 を参照してください。

@Service24 へのアクセスはお客様登録（ユーザー登録）が必要となります。「5 ユーザー登録方法」を参照してください。

なお、動作環境によって制限される機能が存在する場合、TELstaff ではその機能を使用できません。

## 1.1 Windows 環境

### 1.1.1 TELstaff AE Professional Edition / AE Standard Edition / AE Client

基本ソフトウェア : 以下の日本語版 OS

- Windows Server® 2003 (※1)
- Windows Server® 2003, Standard x64 Edition (※1)
- Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition (※1)
- Windows Server® 2003 R2 (※1)
- Windows Vista® Ultimate (※1)
- Windows Vista® Business (※1)
- Windows Vista® Enterprise (※1)
- Windows® 7 Ultimate (※1)
- Windows® 7 Professional (※1)
- Windows® 7 Enterprise (※1)
- Windows Server® 2008 Enterprise Edition (※1)
- Windows Server® 2008 Standard Edition (※1)
- Windows Server® 2008 Standard x64 Edition (※1)
- Windows Server® 2008 Enterprise x64 Edition (※1)
- Windows Server® 2008 R2, Enterprise Edition (※1)
- Windows Server® 2008 R2, Standard Edition (※1)
- Windows® 8 (※1)
- Windows® 8 Pro (※1)
- Windows® 8 Enterprise (※1)
- Windows Server® 2012 Standard (※1)
- Windows Server® 2012 Datacenter (※1)
- Windows® 8.1 (※1)
- Windows® 8.1 Pro (※1)
- Windows® 8.1 Enterprise (※1)
- Windows Server® 2012 R2 Standard (※1)
- Windows Server® 2012 R2 Datacenter (※1)

前提プログラム : メール開封確認を Web で行う場合  
Microsoft® Internet Information Server (※2)

コンピュータ本体 (※3) : Pentium 700 MHz 以上の DOS/V 完全互換機  
x64 Edition では、EM64T プロセッサの DOS/V 完全互換機

ハードディスク (※3)	製品種類	ハードディスク
	TELstaff AE Professional Edition	NTFS 形式で 100 MB 以上
	TELstaff AE Standard Edition	
	TELstaff AE Client	NTFS 形式で 72 MB 以上

メモリ (※3) : 512 MB 以上  
その他 : CD-ROM 装置

## 1. TELstaff の動作環境

### 【注意事項】

- ※1 32ビットバイナリで動作します
- ※2 バージョン7.0以降では使用できません
- ※3 IP電話機能等で音声合成ソフトウェアを使用する場合は基本ソフトウェア・注意事項の条件が異なります。詳細は「1.1.2」を参照してください。

### 1.1.2 音声合成ソフトウェアを利用する場合の動作環境

TELstaff AE Professional Edition では IP 電話発信機能と自動読み上げ機能、TELstaff AE Client では自動読み上げ機能にて、音声合成ソフトウェアを使用できます。その場合、音声合成ソフトウェアが別途必要です。また、TELstaff が必要とする動作環境の条件と音声合成ソフトウェアが必要とする動作環境の条件を、両方同時に満たす環境でご使用ください。

前提プログラム	:	製品名（メーカー名）
		<ul style="list-style-type: none"><li>・ ボイスソムリエ マリアージュ ランタイム</li><li>・ ボイスソムリエ マリアージュ ランタイム (Type2)</li><li>・ ボイスソムリエ・ネオ・マリアージュ・ランタイム (株式会社日立ソリューションズ・ビジネス)</li><li>・ デジタルサイネージ 音声化システム (スタンドアロン型) (株式会社日立ソリューションズ)</li></ul>
※動作環境は、上記製品の説明書等の資料を参照してください。		

## 1.2 UNIX/Linux 環境

### 1.2.1 TELstaff Professional for RHEL TELstaff Enterprise for RHEL

基本ソフトウェア	:	RHEL 5, RHEL 6, CentOS 5, CentOS 6															
前提プログラム	:	特に無し															
前提パッケージ	:	(TELstaff Enterprise for RHEL) glibc.i686 (TELstaff Professional for RHEL) glibc.i686, libstdc++.i386															
ハードディスク	:	<table><tr><th>ディレクトリ</th><th>使用容量 (Professional の場合)</th><th>使用容量 (Enterprise の場合)</th></tr><tr><td>/etc</td><td>72 MB 以上</td><td>3.7 MB 以上</td></tr><tr><td>/opt</td><td>10 MB 以上</td><td>9.3 MB 以上</td></tr><tr><td>/usr</td><td>320 KB 以上</td><td>320 KB 以上</td></tr><tr><td>/var</td><td>72 KB 以上</td><td>72 KB 以上</td></tr></table>	ディレクトリ	使用容量 (Professional の場合)	使用容量 (Enterprise の場合)	/etc	72 MB 以上	3.7 MB 以上	/opt	10 MB 以上	9.3 MB 以上	/usr	320 KB 以上	320 KB 以上	/var	72 KB 以上	72 KB 以上
ディレクトリ	使用容量 (Professional の場合)	使用容量 (Enterprise の場合)															
/etc	72 MB 以上	3.7 MB 以上															
/opt	10 MB 以上	9.3 MB 以上															
/usr	320 KB 以上	320 KB 以上															
/var	72 KB 以上	72 KB 以上															
メモリ	:	20 MB 以上															
言語環境	:	使用する文字エンコーディングに合わせて以下の通り LANG 環境変数を設定します： ・ Shift_JIS: ja_JP.SJIS ・ EUC-JP: ja_JP.eucJP ・ UTF-8: ja_JP.UTF-8 英語で使用する場合は、LANG 環境変数値は「C」にします。															
その他	:	CD-ROM 装置															

### 【ご使用上の注意事項】

- (1) TELstaff Professional for RHEL および TELstaff Enterprise for RHEL はクラスタ環境に対応しており、本ドキュメント発行時点で以下ソフトウェアでの動作を確認しています。
  - ・ SIOS LifeKeeper for Linux Version 8



詳細については弊社サポートサービスまでお問い合わせください。

- (2) TELstaff が動作するホストの IP アドレスをホスト名から名前解決できない場合、一部の機能が正常に動作しません。そのような環境では/etc/hosts ファイルにホスト名と IP アドレスの組み合わせを登録してください。ホスト名から IP アドレスを解決できるかどうかは以下コマンドで判別できます。

```
$ ping HOSTNAME
```

ホスト名と共に IP アドレスが表示され、自分自身から応答を受信するようであれば問題ありません。なお上記コマンドライン中にある HOSTNAME の部分には、hostname コマンドで確認できるホスト名を指定してください。

- (3) TELstaff が使用する通知文ファイルなどのファイルは文字コード UTF-8 で作成してください。
- (4) TELstaff が作成するファイル（ログファイルや定義情報ファイルなど）は、ユーザー環境変数の言語種別を使用して作成します。このため言語種別を変更する場合は、ログファイルの再作成と、日本語を使用した定義情報（ユーザ名など）の再定義が必要となります。
- (5) TELstaff Professional で IP 電話発信機能を使用する場合、注意事項があります。詳細は「1.2.4」を参照してください。

## 1.2.2 TELstaff Enterprise TELstaff Enterprise for IPv6

基本ソフトウェア : HP-UX, Solaris  
 前提プログラム : X Window system Version 11 Release 5 以降 (※1)  
 OS/Motif Revision 1.2 以降 (※1)  
 注※1 HP-UX, Solaris の前提プログラム

ハードディスク :

ディレクトリ	使用容量
/etc	3.7 MB 以上
/opt	9.3 MB 以上
/usr	320 KB 以上
/var	72 KB 以上

※HP-UX 環境の場合、インストール時に一時的に/tmp を約 11 MB 使用し、インストール終了後に削除します。

メモリ : 20 MB 以上  
 言語環境 :

	OS種別	HP-UX	Solaris
コード			
シフト JIS コード		ja_JP.SJIS	ja_JP.PCK
EUC コード		ja_JP.eucJP	ja
英語コード		C	C

その他 : CD-ROM 装置

### 【ご使用上の注意事項】

- (1) 通知文ファイルなど TELstaff が提供する各種ファイルでは、実行する言語環境にかかわらず常に TELstaff 製品標準の文字コードを使用します。標準の文字コードは、HP-UX および Solaris 環境では SJIS コードです。ご使用の環境で、標準の文字コードを使ってファイルを編集できない場合は、一度ご利用可能な文字コードに変換してから編集し、その結果を標準の文字コードに再変換してください。
- (2) TELstaff が作成するファイル（ログファイルや定義情報ファイルなど）は、ユーザー環境変数の言語種別を使用して作成します。このため、言語種別を変更して運用する場合、ログファイルは削除して再作成し、日本語を使用した定義情報（ユーザ名など）は再定義が必要となります。
- (3) IPv6 通信環境で使用する場合は、基本ソフトウェアや注意事項が異なります。詳細は「1.2.3」を参照してください。

### 1.2.3 IPv6 通信環境での注意事項

IPv6 通信は、TELstaff Enterprise for IPv6 製品の機能です。

基本ソフトウェア : HP-UX, Solaris

#### 【IPv6 通信環境でのご使用上の注意事項】

- (1) パトライト社製 (PHN-3FB/PHN-R/ NH シリーズパトランプ) パトランプ, パトライト社製コンバータ (PHN-S), および旧日立 IT 社製コンバータ (IT-C10RE) は, IPv6 通信環境では使用できません。
- (2) NNM と連携した次の機能は利用できません。
  - NNM からのホスト抽出機能
  - ポーリング監視
  - ネットワーク監視統計情報への出力
  - 親ノード指定

### 1.2.4 IP 電話発信を利用する場合の注意事項

IP 電話発信機能は、TELstaff Professional 製品が備える機能です。

TELstaff Professional 製品では、内蔵の音声合成機能により IP 電話発信に使用する音声電話発信時に合成できます。内蔵の音声合成機能ではない音声合成エンジンを使用する場合、Windows 環境に音声合成サーバ機能を有効化した TELstaff AE Professional Edition または TELstaff AE Client が必要です。

## 2. TELstaff の最新情報について

TELstaff の最新アップデート情報は、日立ソリューションズ@Service24 ホームページからダウンロードできますので、ご利用ください。

**<https://service24.hitachi-solutions.co.jp/>**

製品マニュアルに記載が無い場合、補足マニュアルが CD-ROM に収録されています。製品マニュアルに記載が無い場合は、次のフォルダ内のファイルをご確認ください。補足マニュアルがない場合は、フォルダ内にはファイルはありません。製品マニュアルは、CD-ROM の X:¥Documents¥Manual フォルダに納めています。

種類	補足マニュアルの格納場所
Windows 対応製品の補足マニュアル	X:¥Documents¥Manual¥win
UNIX 対応製品の補足マニュアル	X:¥Documents¥Manual¥unix

X:CD-ROM のドライブ名

## 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

Windows 対応製品の TELstaff をインストールする方法について説明します。インストールする前にエクスプローラのファイル検索を使用して、Windows フォルダに **regedit.exe** という名前のファイルが存在するかどうかをご確認ください。

TELstaff のインストールでは、**regedit.exe** ファイルが必要となりますので、セキュリティの関係等の理由によりで他のフォルダに移動してしましたら、一時的に Windows フォルダに **regedit.exe** ファイルを置いてからインストールを開始してください。**regedit.exe** ファイルがありませんとインストールができません。

### 3.1 インストールの開始

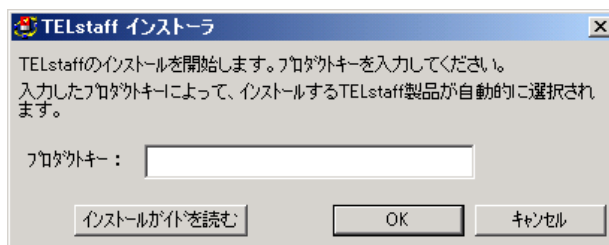
Windows を Administrators 権限でログオンし、全てのアプリケーションを終了させます。

インストール CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入します。「TELstaff インストーラ」ダイアログボックスが表示されるのを待ちます。表示されない場合は、**install.exe** を実行します。評価版をご使用されているときは、先に評価版をアンインストールする必要があります。

### 3.2 「TELstaff インストーラ」ダイアログボックス

#### (1) プロダクトキーダイアログボックス

このダイアログボックスでは、TELstaff のプロダクトキーを指定します。製品版ではインストール CD-ROM に添付されているプロダクトキーを指定してください。



**インストールガイドを読む** ボタンをクリックする、またはインストール CD-ROM の README.html ファイルを開きますと、インストールについての詳細な説明があります。詳しくは、インストールガイドを参照してください。

#### (2) インストール製品確認ウィンドウ

インストールする製品を確認します。



ボタンのいずれかを選択してください。

**OK** 「ようこそ」ウィンドウに進み、インストールを継続します。

**キャンセル** プロダクトキーダイアログボックスウィンドウに戻ります。

## (3) 「ようこそ」ウィンドウ

このウィンドウはセットアップ(インストール)手順を紹介し、いくつかの情報を提供します。



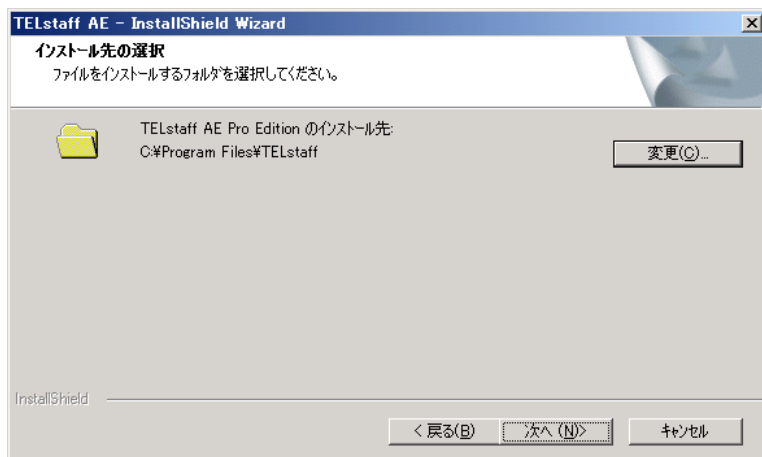
いずれかのボタンを選択してください。

**次へ** 「インストール先の選択」ウィンドウに進み、インストールを継続します。

**キャンセル** 「セットアップの中止」ウィンドウに進み、インストールを取り消します。

## (4) インストール先の選択

このウィンドウでは、TELstaff をインストールする先のディレクトリを選択します。暗号化ソフトウェア導入環境では、暗号化対象外のローカルフォルダにインストールしてください。



いずれかのボタンを選択してください。

**変更** 「ディレクトリの選択」ウィンドウに進み、インストール・プログラムが選択するディレクトリ以外のディレクトリを選択する事が出来ます。

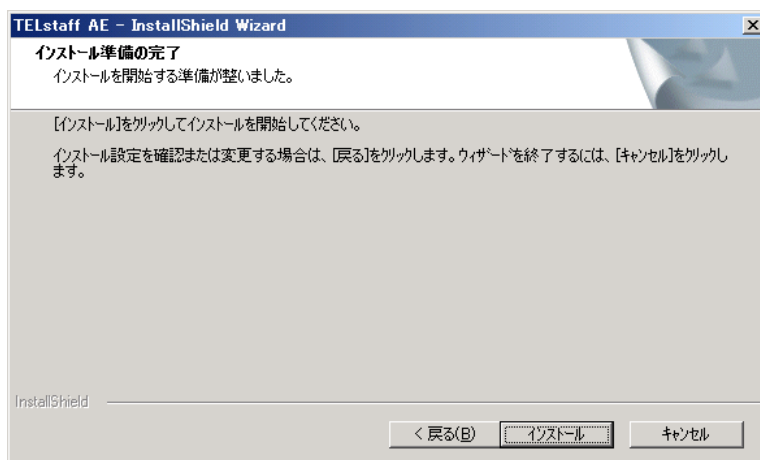
**戻る** 直前のウィンドウに戻ります。

**次へ** 「インストール準備の完了」のウィンドウに進みます。

**キャンセル** 「セットアップの中止」ウィンドウに進み、インストールを取り消します。

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

#### (5) インストール準備の完了

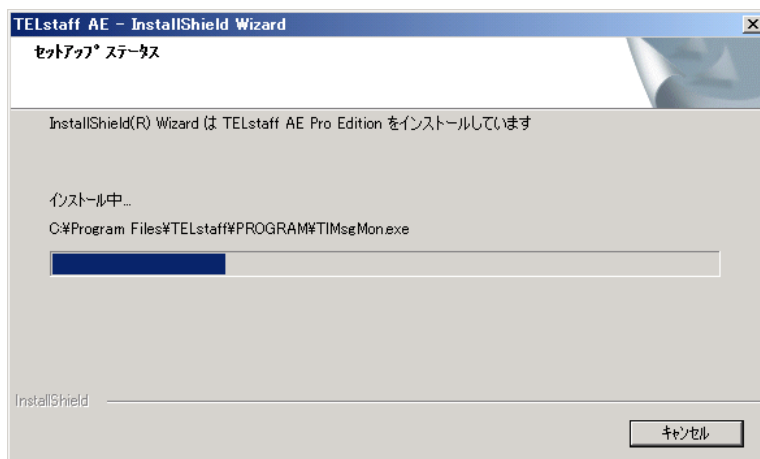


いずれかのボタンを選択してください。

<b>戻る</b>	直前のウィンドウに戻ります。
<b>インストール</b>	インストールを開始します。
<b>キャンセル</b>	「セットアップの中止」ウィンドウに進み、インストールを取り消します。

#### (6) インストールの開始

インストールを開始すると、以下のようなウィンドウが表示されます。ファイルのコピーが終了すると「TELstaff セットアップ」ウィンドウへ進みます。

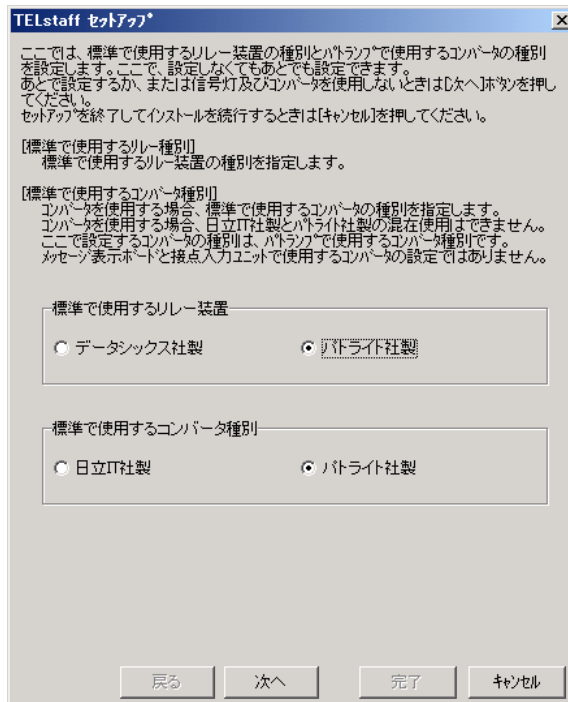


#### (7) TELstaff のセットアップ

このウィンドウでは、標準で使用するリレー装置種別、標準で使用するコンバータ種別とメール環境の設定を行います。

##### (a) 標準で使用するリレー装置種別とコンバータ種別の設定

標準で使用するリレー装置種別、標準で使用するコンバータ種別の設定を行います。



いずれかのボタンを選択してください。

**次へ**

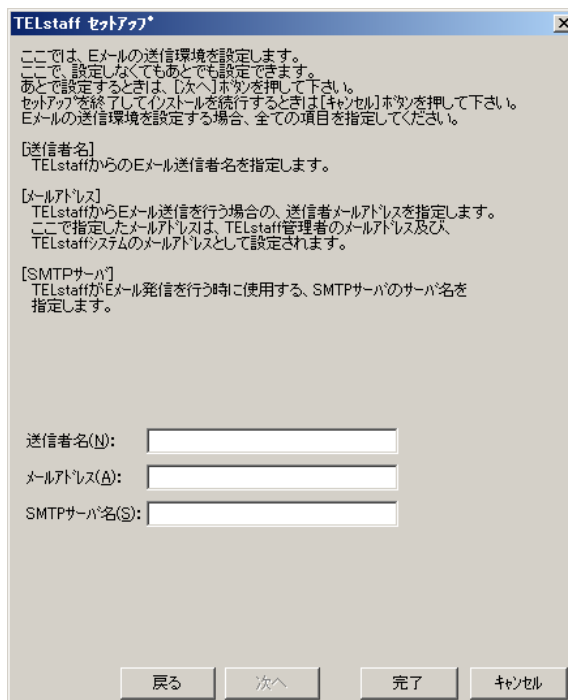
メール環境の設定画面へ進みます。

**キャンセル**

TELstaff のセットアップを中止し、「セットアップの終了」ウィンドウへ進みます。

#### (b) メール環境の設定

メール環境を使用する場合、システム管理者の送信者名とメールアドレス、および SMTP メールサーバ名を指定します。メール環境の設定は、インストールした後でも設定できます。



いずれかのボタンを選択してください。

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

戻る

標準で使用するリレー装置種別とコンバータ種別の設定画面へ戻ります。

完了

メール環境の設定を完了します。

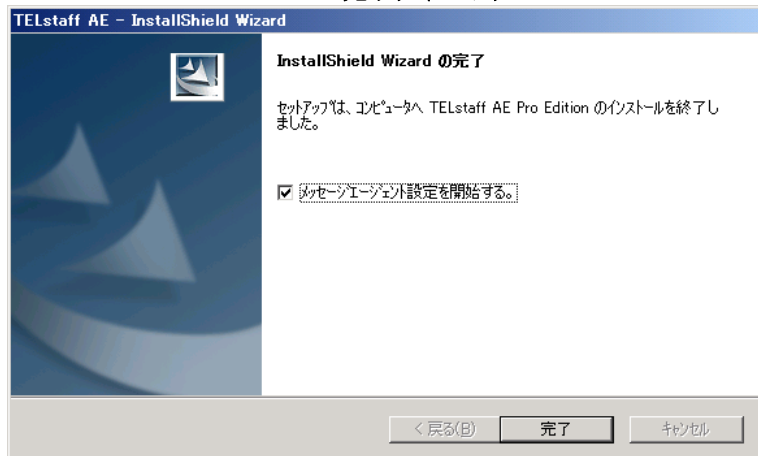
キャンセル

TELstaff のセットアップを中止し、「セットアップの終了」ウィンドウへ進みます。

#### (8) セットアップの終了

メッセージエージェント設定を開始する場合は、チェックマークを選択した後、**完了** ボタンをクリックしてください。またセットアップ完了後、5 章のユーザー登録を行ってください。

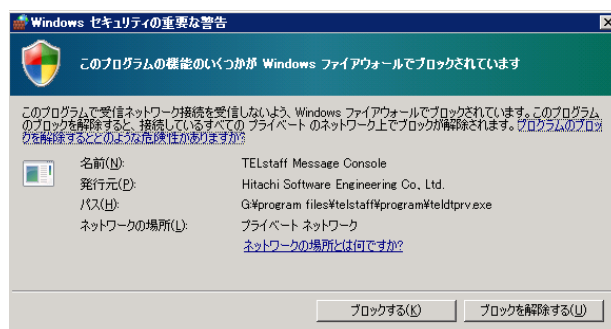
##### ● TELstaff AE Professional Edition の完了ウィンドウ



#### (9) Windows ファイアウォールの設定

Windows ファイアウォールの利用を選択している場合、インストールが完了すると次のセキュリティ警告画面が表示される場合があります。

TELstaff Message Console プログラムに対するセキュリティ警告画面では**ブロックを解除する** ボタンを押します。



### 3.3 Windows の設定

#### (1) サービスアカウントの設定

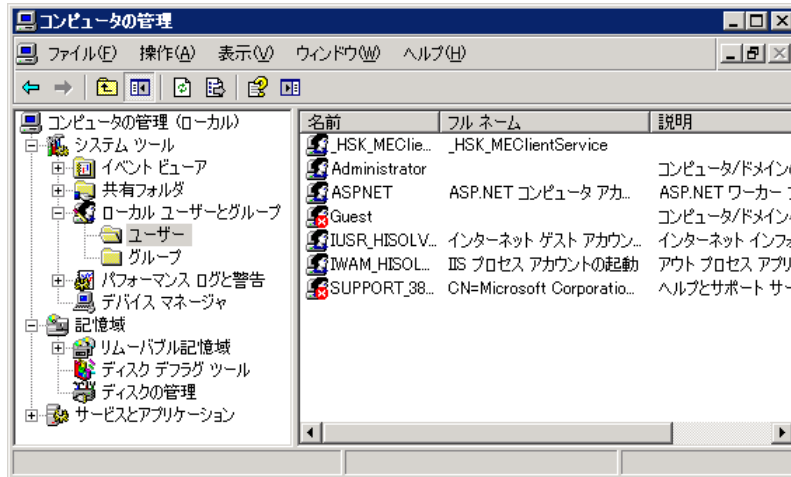
インストール完了後、TELstaff のサービスを実行するアカウントの設定を行います。なお本設定を行わなくとも製品は動作しますが、可能な限り設定することを推奨します<sup>❶</sup>。サービスアカウン

❶ サービスの動作にはデスクトップヒープ領域と呼ばれるリソースが必要であり、これは OS がアカウントごとに割り振ります。ここで、インストールと同時に設定される「ローカルシステムアカウント」は他のサービスと共有であり、このリソース領域も他サービスと共有します。このため他サービスのデスクトップヒープの使用が TELstaff のデスクトップヒープ不足を引き起こす、あるいはその逆が起こりやすくなります。これを予防するため、専用アカウントの使用を推奨しています。



トの設定方法は、Windows Server 2003 を例に説明します。

管理ツールからコンピュータの管理画面を開きます。



「ローカルユーザーとグループ」の「ユーザー」を選択して TELstaff サービスのサービスアカウントで使用するユーザーアカウントを作成します。



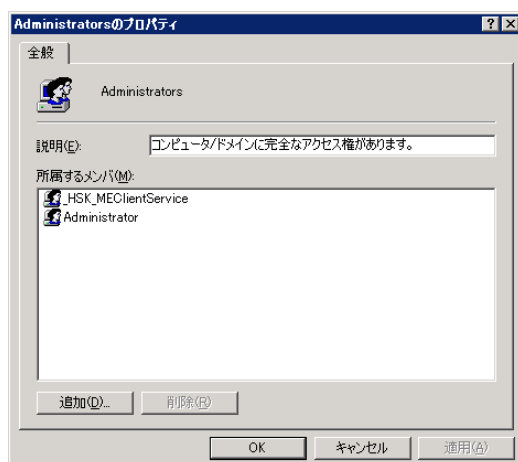
「ローカルユーザーとグループ」の「グループ」を選択します。



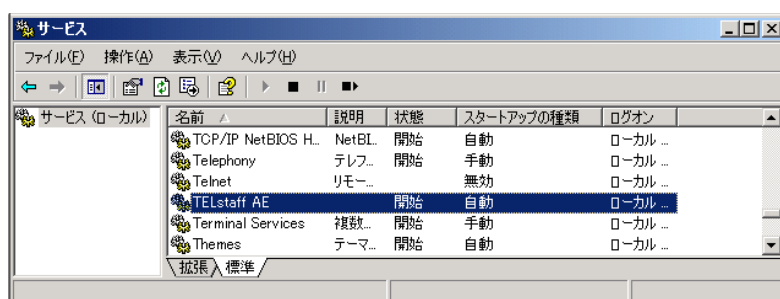
Administrators グループを選択して Administrators のプロパティ画面を開きます。

**追加** ボタンを押して Administrators グループに TELstaff サービスのサービスアカウントで使用する

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール るユーザーアカウントを追加します。

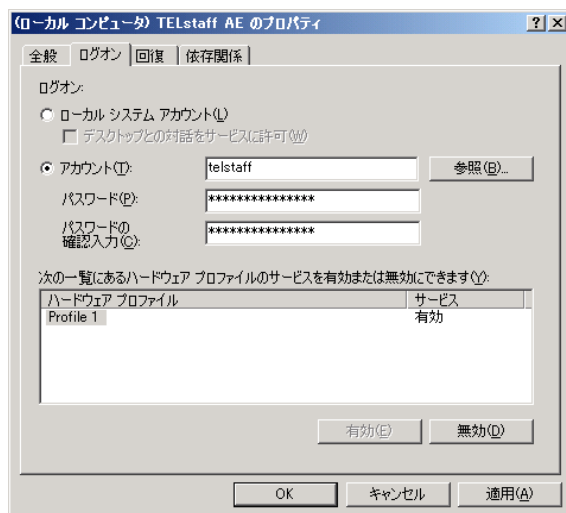


管理ツールの「サービス」から次の画面を開きます。



TELstaff サービスのサービスアカウントを設定する TELstaff 製品を選択してサービスプロパティ画面を開きます。

「アカウント」ラジオボタンをチェックして TELstaff サービスのサービスアカウントで使用するユーザーアカウントを指定し、TELstaff サービスを再起動します。



## (2) Microsoft® Internet Information Server の設定

メールの開封確認を Web サーバで行う場合、Web サーバの設定が必要です。ここでは Windows Server での設定について説明します。

Windows Server 2003 では、「管理ツール」のインターネットインフォメーションサービスマネ

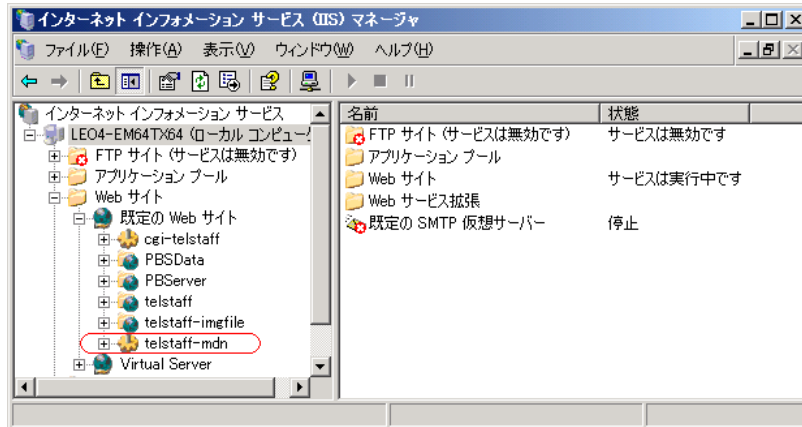
### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

ージャからインターネットインフォメーションサービスマネージャウィンドウを開き、下表の telstaff-mdn エイリアスと参照ディレクトリおよびアクセス権を設定します。

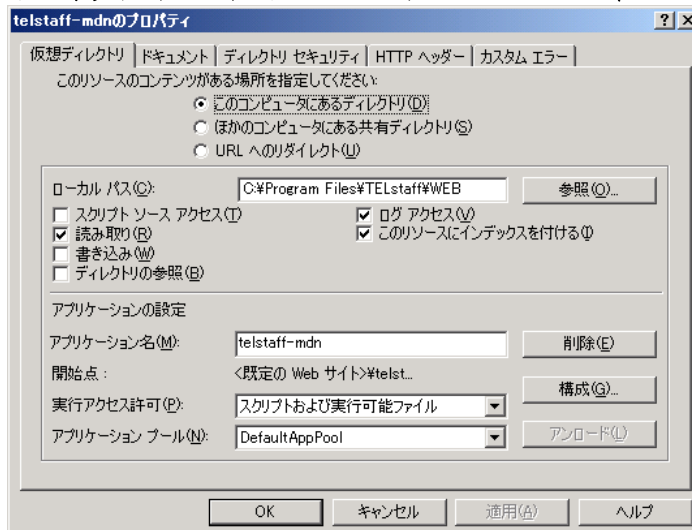
エイリアス	ディレクトリ	アクセス
telstaff-mdn	<InstallDir>%WEB	実行・読み取り

<InstallDir> : インストールディレクトリを示します

#### ● インターネット インフォメーション サービス ウィンドウ

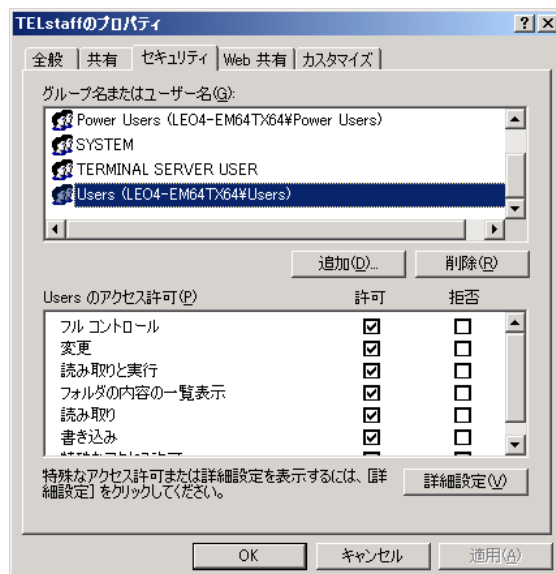


#### ● インターネット インフォメーション サービス プロパティ

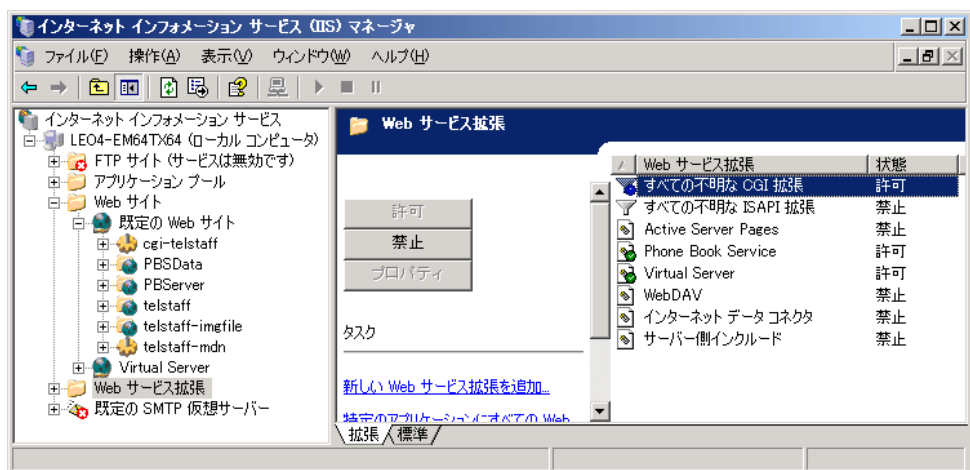


### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

Windows Server 2003 では、TELstaff AE Professional Edition/AE Standard Edition をインストールしたディレクトリのプロパティを開き、「セキュリティ」ページで Administrators, Everyone, Users に対してディレクトリのアクセス権限を確認します。各コントロールが全てアクセス許可を与えられていないときは、アクセス許可を与えます。



Windows Server 2003 では、「管理ツール」のインターネットインフォメーションサービスマネージャからインターネットインフォメーションサービスマネージャウィンドウを開き、「すべての不明な CGI 拡張」を許可状態に設定します。



### (3) Windows Vista, Windows 7 の設定

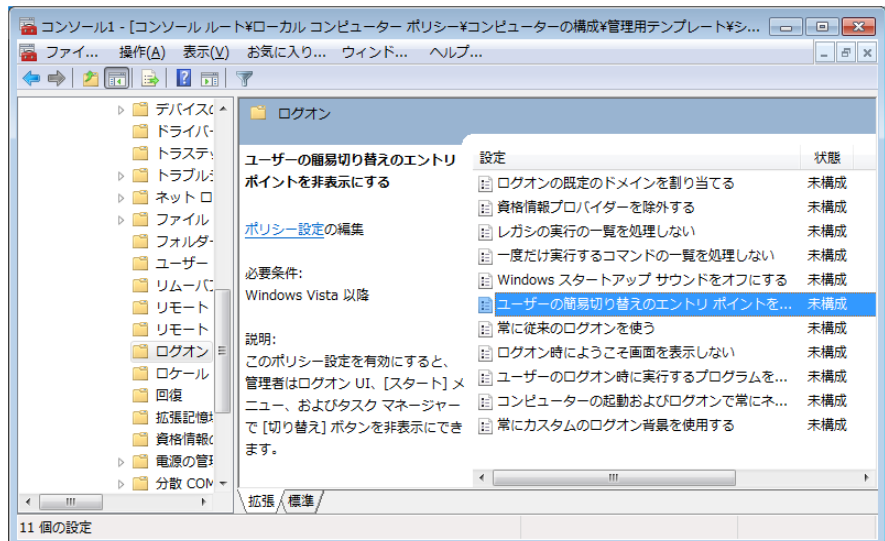
Windows Vista, Windows 7 上で TELstaff 製品を動作させる場合は、シングルユーザー環境（シングルログオン）でご使用ください。

- Windows Vista, Windows 7 でのユーザーの切り替え機能を無効にする方法例  
次の手順でお願いします。

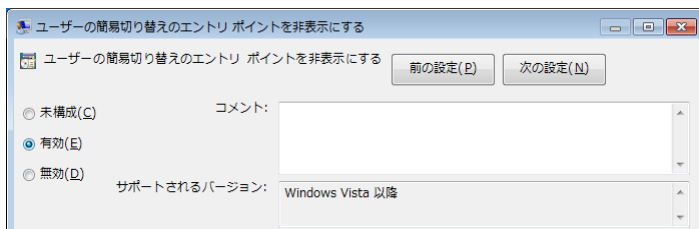
1. [スタート] → [ファイル名を指定して実行] で「mmc」と入力し [OK] ボタンをクリックします。
2. コンソール画面で [ファイル] → [スナップインの追加と削除] を選択します。
3. [スナップインの追加と削除] ダイアログの [利用できるスナップイン] の一覧から [グループポリシーオブジェクトエディタ] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

4. [グループポリシーオブジェクトの選択] ダイアログで該当のグループポリシーオブジェクトを選択し、[完了] ボタンをクリックします。
5. [スナップインの追加と削除] ダイアログの [OK] ボタンをクリックします。
6. 追加したポリシーから以下を開きます。  
[コンピュータの構成] → [管理用テンプレート] → [システム] → [ログオン]



7. 右ペインの [ユーザーの簡易切り替えのエントリ ポイントを非表示にする] をダブルクリックします。
8. [ユーザーの簡易切り替えのエントリ ポイントを非表示にするのプロパティ] ダイアログで [有効] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



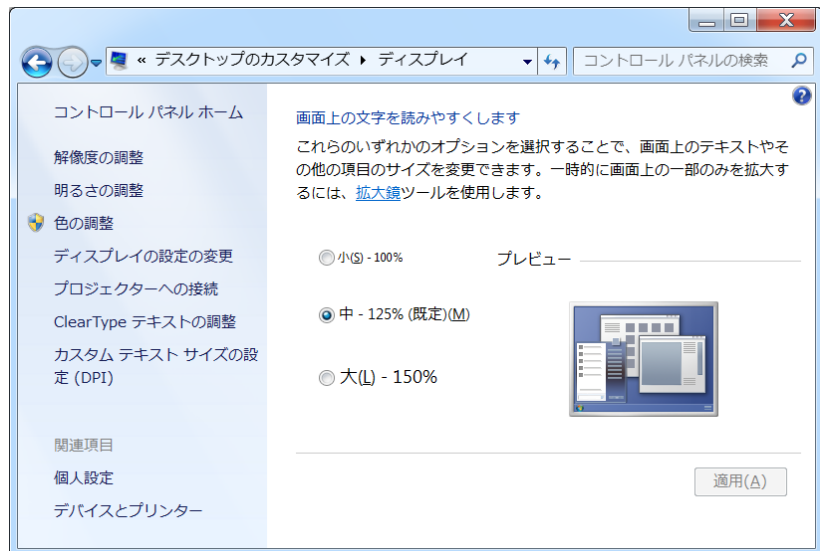
9. ポリシーを更新します。

## (4) Windows 7 の設定

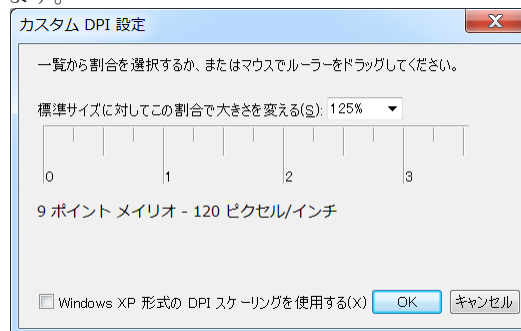
Windows 7 上で TELstaff 製品を動作させる場合は、Windows 7 の設定によっては TELstaff の画面レイアウトが崩れてしまう場合があります。画面を正しく表示するために、次の手順で設定項目を確認してください。

1. コントロールパネルを開きます。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」を選択し、「テキストやその他の項目の大きさの変更」を開きます。

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール



3. ウィンドウ左に表示される「カスタム テキスト サイズの設定 (DPI)」を選択します。



4. 表示される「カスタム DPI 設定」において、「Windows XP 形式の DPI スケーリングを使用する(X)」のチェックボックスのチェックを外します。  
クリックしてもチェックを外せない場合は、「標準サイズに対してこの割合で大きさを変える(S)」のドロップダウンリストボックスで「100%」を選択します。
5. 設定を変更した場合、ログオンしなおします。

### (5) Windows ファイアウォールの設定

#### 受信ポートの例外登録

Windows ファイアウォールの利用を選択している場合は、TELstaff が使用する受信ポートを TCP 通信でできるように設定します。TELstaff の使用するポート番号については、製品マニュアル (T206-7-001) を参照してください。使用する TELstaff の機能によって、受信ポートの例外登録を行ってください。

#### プログラムの例外登録

使用する TELstaff の機能によっては、プログラムの例外登録が必要です。TELstaff の機能と、その機能を使用する場合に例外登録する必要があるプログラム (プロセス名) は下表のとおりです。

TELstaff の機能	例外登録の必要なプログラム
Web サービス監視	<インストールフォルダ>%PROGRAM%tlwebcap.exe
IP 電話発信	<インストールフォルダ>%PROGRAM%tliptsrv.exe
プレゼンス状況一覧ビューア	<インストールフォルダ>%PROGRAM%telprsvw.exe

#### Messenger サービスの再設定

Windows ファイアウォールの利用を選択している場合は、Messenger サービスは無効で設定されます。Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2008 では、設定の必要はありません。

### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール

Messenger サービスを使用した通知機能をご利用の場合は、「コントロールパネル」の「管理ツール」から「サービス」を選択してサービス画面を開き、Messenger サービスのスタートアップ種類を「自動」に変更し Messenger サービスを開始します。

Messenger サービスを使用した通知機能をご利用の場合は、以下設定が必要です。詳細は製品マニュアル (T206-7-001) の以下項目をご参照ください。

- 「メッセージエージェント構成の設定」ダイアログボックス-「メッセージ受信」タブ
- 「メッセージ通知方法の設定」ダイアログボックス

### 3.4 バージョンアップ

同一製品(TELstaff AE Professional Edition/AE Standard Edition/AE Client)のバージョンアップを行う際は、TELstaff サービスを停止し、開いている TELstaff のウィンドウを全て閉じてから、上位バージョンの製品をインストールしてください。下位バージョンと同一のインストールフォルダに上位バージョンをインストールした場合は、下位バージョンの定義情報を引き継ぐことが可能です。

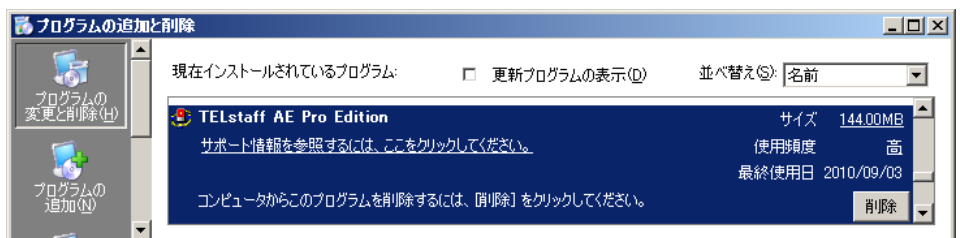
### 3.5 上書きインストール

TELstaff を上書きインストールするには、TELstaff サービスを停止し、開いている TELstaff のウィンドウを全て閉じて行ってください。

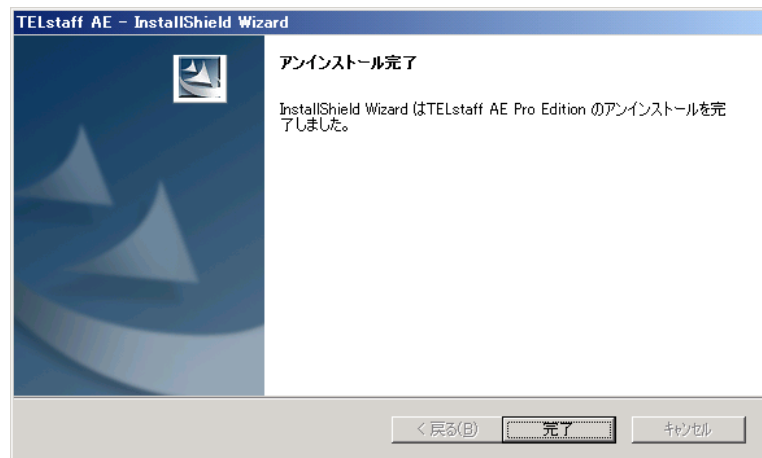
### 3.6 アンインストール

TELstaff のアンインストールは、次の手順でおこないます。

1. TELstaff のアンインストールを行う前に、TELstaff サービスを停止し、開いている TELstaff のウィンドウを全て閉じてください。
2. コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」または「プログラムと機能」から「TELstaff AE Pro Edition」(TELstaff AE Professional Edition)、「TELstaff AE Standard Edition」または「TELstaff AE Client」を選択し、**変更と削除**ボタンまたは「アンインストール」をクリックします。



### 3. Windows 対応 TELstaff のインストール



3. 定義情報などのファイルは、アンインストールでは削除されません。削除する場合は、エクスプローラなどから手動で削除してください。
4. 「3.3 Windows の設定」で設定した項目を手動で元に戻してください。
5. アンインストール完了時に、コンピュータの再起動が必要な場合があります。その場合、ラジオボタン「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」および「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」が表示されます。いずれかをチェックし、メッセージに従い、**完了** ボタンをクリックしてください。また、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択後、再起動するまでは、TELstaff 製品をインストールしないでください。



## 4. UNIX/Linux 対応 TELstaff のインストール

UNIX/Linux 対応製品の TELstaff をインストールする方法について説明します。

評価版をインストールした環境では、製品版を上書きインストールすることで評価版の定義情報を製品版で利用することが可能です。上書きインストールの詳細については、操作マニュアル (T178-7-001) を参照してください。以下、TELstaff Professional for RHEL を例にインストール・アンインストールの説明を記します。

### 4.1 インストール

TELstaff のインストールは、次の手順でおこないます。

- ① 評価版をインストールしているときは、評価版をアンインストールします。
- ② スーパーユーザーでログインするか、又は su コマンドでユーザーをスーパーユーザーに変更します。  
\$ su<CR>  
Password: パスワード指定<CR>
- ③ CD-ROM ドライブに TELstaff Professional の CD-ROM をセットします。
- ④ Mount コマンドで CD-ROM をマウントします。  
# mount デバイスファイル名 マウント先ディレクトリ名<CR>  
# cd マウント先ディレクトリ名<CR>
- ⑤ 次のスクリプトを実行して、インストールを行います。  
# ./install.sh <CR>  
#####  
#  
# Installation of TELstaff(R) Enterprise #  
# Professional #  
# #  
# All Rights Reserved, Copyright (C) 1998, 2014, #  
# Hitachi Solutions, Ltd. #  
# #  
#####  
Starting install. Please input the Install Key Code.  
Which you are going to install of TELstaff Product will be  
automatically selected by your input Install Key Code.  
Install Key Code ---> **プロダクトキーを入力します**  
Do you want to do the installation of  
TELstaff Professional for RHEL 08-02 ?([Y]/n):Y  
Start installation.....  
Making symbolic links...  
Installation completed normally.  
TELstaff Version  
TELstaff Professional 08.02.0.0  
All Rights Reserved, Copyright (C) 2014, Hitachi Solutions, Ltd.  
License-Id = **プロダクトキーが表示されます**  
Install-Date = **インストールした日時が表示されます**  
#

日本語環境でご使用する場合は、インストールは終了です。英語環境でご使用する場合は、引き続き 4.2 の英語環境のセットアップをおこないます。

(注 1)インストール時に表示されるメッセージの意味につきましては、7 章をご覧ください。

## 4.2 英語環境でご使用するには

英語環境で TELstaff をご使用する場合、メール通知文、AE Client 通知文、コメントファイルなどの通知文ファイルは英語へのカスタマイズが必要です。TELstaff 標準提供の通知文ファイルは日本語で提供しています。

また、英語環境でご使用する場合、以下の機能が制限あるいは使用できません。

- (1) 英語版対応のマニュアルはありません。日本語マニュアルをご使用ください。
- (2) 英語と日本語の混在使用はできません。
- (3) トリガフォンを使用することはできません。
- (4) SMS メッセージは、英数字だけのメッセージとなります。

英語環境でご使用する場合、4.1 でインストールした後に、次の手順で英語環境のセットアップをおこないます。一度英語環境のセットアップをおこないますと、日本語環境では使用できなくなります。英語環境でご使用後、日本語環境で使用する場合は、TELstaff をアンインストールしてから再度 4.1 の手順でインストールし直して下さい。

- ① スーパーユーザーでログインするか、又は su コマンドでユーザーをスーパーユーザーに変更します。  
\$ su<CR>  
Password:パスワード指定<CR>
- ② 次のスクリプトを実行して、インストールを行います。  
# /usr/bin/telstaff/telcnvle <CR>  
Do you turn Japanese environment into English environment ?  
Y ← Y を応答します
- ③ 5 章のユーザー登録をおこなってください。

## 4.3 上書きインストール

TELstaff の上書きインストールは、TELstaff を停止し、開いている TELstaff のウィンドウを全て閉じてから次の操作手順で行ってください。

### (1) 構成定義ファイルの退避

上書きインストールを行うと、定義情報の一部は初期状態に戻ります。情報を失わないよう、あらかじめ各種定義ファイルの退避した後に上書きインストールを行ってください。退避すべきファイルについては操作マニュアル(T178-7-001)を参照してください。

### (2) 上書きインストール

4.1 または 4.2 に従ってインストールします。上書きインストール後の TELstaff デーモン起動方法については製品マニュアルをご参照ください。上書きインストールする場合は、従来の TELstaff のアンインストール操作を行わないで下さい。

### (3) 構成定義ファイルの回復

下表の方法で、構成定義ファイルを回復します。

OS 名	回復方法
HP-UX	# cp 退避先ディレクトリ名/.config /etc/opt/telstaff/lib/.config
Solaris	# cp 退避先ディレクトリ名/.config /etc/opt/telstaff/lib/.config
RHEL	# cp 退避先ディレクトリ名/.config /etc/opt/telstaff/lib/.config

その他にも使用方法に応じて回復が必要なファイルがあります。詳細は、操作マニュアル(T178-7-001)を参照してください。

## 4.4 アンインストール

TELstaff のアンインストールは、次の手順でおこないます。

- ① スーパーユーザーでログインするか、又は su コマンドでユーザーをスーパーユーザーに変更します。  
\$ su<CR>  
Password:パスワード指定<CR>
- ② TELstaff デーモンを停止させ、操作ウィンドウを終了させます。
- ③ CD-ROM ドライブに TELstaff Professional の CD-ROM をセットします。
- ④ Mount コマンドで CD-ROM をマウントします。  
# mount デバイスファイル名 マウント先ディレクトリ名<CR>  
# cd マウント先ディレクトリ名<CR>
- ⑤ 次のスクリプトを実行して、アンインストールを行います。  
# ./uninstall.sh <CR>  
#####  
#  
# Uninstallation of TELstaff(R) Enterprise #  
# Professional #  
# #  
# All Rights Reserved, Copyright (C) 1998, 2014, #  
# Hitachi Solutions, Ltd. #  
# #  
#####  
Do you want to do the uninstallation of TELstaff([Y]/n):Y  
Start installation.....  
Uninstallation completed.  
#

## 5. ユーザー登録方法

日立ソリューションズ@Service24 をご購入頂きましたお客様は、サポートサービスを開始するために、お客様登録（ユーザー登録）が必要となります。同梱された「日立ソリューションズ@Service24 サービス利用ガイド」に従ってユーザー登録を行ってください。ユーザー登録が行われませんとサポートサービスを受けられませんのでご注意ください。

サポートサービスの内容につきましては、「TELstaff 製品サポートサービス実施要領」をご確認ください。

- お客様情報登録サイト：  
<https://service24.hitachi-solutions.co.jp/Support/NewCustomer>
- @Service24 Web サイト：  
<https://service24.hitachi-solutions.co.jp>

## 6. その他のセットアップ

### 6.1 ダイアルアップ接続の構成設定

ダイアルアップネットワーク接続でインターネット接続事業者（プロバイダ）の SMTP メールサーバを使用してメール発信する場合、Windows コマンドの rasphone コマンドでダイアルアップ接続を構成しておく必要があります。

### 6.2 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- PHN-S をご使用の場合

#### 6.2.1 ファームウェアの更新

製造元より最新のファームウェアが提供されていますので最新のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

#### 6.2.2 メッセージ表示ボードで使用する場合の設定方法

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-S）を使用するには、IP アドレスや通信ポートなどの設定が必要になります。次の手順で IP アドレスや通信ポートなどの必要な項目を設定してください。設定終了後は、動作モード設定スイッチを 0（運転モード）に設定してください。

##### (1) 初期設定ネットワークへの接続

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-S）を使用するネットワークに接続するために PHN-S の初期設定を行います。初期設定方法は、付属の取り扱い説明書を参照してください。

##### (2) 「PHN Manager」のインストール

付属の「PHN Manager」をパソコンにインストールします。インストール方法は、取り扱い説明書を参照してください。

##### (3) 設定

PHN Manager を使用するか、又は telnet を使用して次の項目を設定します。PHN Manager の使用方法や telnet による設定方法については、付属の取り扱い説明書を参照してください。

設定項目	設定内容
サーバ/クライアント	サーバ
ユニット IP	使用する IP アドレス
ユニットポート	使用するポート番号
サブネットマスク	サブネットマスク
ボーレート	9600
通信監視	「無」
接続切替	「有」

#### 6.2.3 接点入力ユニットで使用する場合の設定方法

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-S）を使用するには、IP アドレスや通信ポートなどの設定が必要になります。次の手順で IP アドレスや通信ポートなどの必要な項目を設定してください。設定終了後は、動作モード設定スイッチを 0（運転モード）に設定してください。

##### (1) 初期設定ネットワークへの接続

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-S）を使用するネットワークに接続するために PHN-S の初期設定を行います。初期設定方法は、付属の取り扱い説明書を参照してください。

## 6. その他のセットアップ

### (2) 「PHN Manager」のインストール

付属の「PHN Manager」をパソコンにインストールします。インストール方法は、取り扱い説明書を参照してください。

### (3) 設定

#### 接点入力ユニットを「ポーリングモード」で使用する時の設定内容

PHN Manager を使用するか、又は telnet を使用して次の項目を設定します。PHN Manager の使用方法や telnet による設定方法については、付属の取り扱い説明書を参照してください。

設定項目	設定内容
サーバ/クライアント	サーバ
ユニット IP	使用する IP アドレス
ユニットポート	使用するポート番号
サブネットマスク	サブネットマスク
ボーレート	9600
通信監視	「無」
接続切替	「有」

#### 接点入力ユニットを「イベントモード 1」または「イベントモード 2」で使用する時の設定内容

PHN Manager を使用するか、又は telnet を使用して次の項目を設定します。PHN Manager の使用方法や telnet による設定方法については、付属の取り扱い説明書を参照してください。

設定項目	設定内容
サーバ/クライアント	クライアント
ユニット IP	使用する IP アドレス
ユニットポート	使用するポート番号
サーバ IP	TELstaff サーバの IP アドレス
サーバポート	TELstaff サーバのポート番号
サブネットマスク	サブネットマスク
ボーレート	9600
通信監視	「無」
接続切替	「有」

## 6.3 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- IT-C10RE をご使用の場合

### 6.3.1 信号灯・回転灯・メッセージ表示ボードで使用する場合

#### (1) ネットワークに接続して設定する場合

直接 Windows に接続する場合は、10BASE-T クロスケーブルで接続します。HUB に接続する場合は、10BASE-T ストレートケーブルで接続します。コントロールパネルの「ネットワーク」から「プロトコル」を選択し、TCP/IP プロトコルプロパティを開き、デフォルトゲートウェイを Windows の IP アドレスと同じにします。telnet でコンバータの標準 IP アドレスでコンバータにログインします。コンバータの標準 IP アドレスは、取り扱い説明書を参照してください。

#### (2) RS232C に接続して設定する場合

Windows の RS232C とコンバータの RS232C とをクロスケーブルで接続します。後面の MODE 設定スイッチを” CON” にしてターミナルソフトでログインします。ターミナルソフトの通信速度は、19200bps に設定します。設定終了後は、後面の MODE 設定スイッチを” NOM” にします。

### (3) 設定内容

コンバータの設定では、次の項目を設定します。設定情報を下に示します。設定の操作方法について取り扱い説明書を参照してください。

設定後信号灯が動作しない場合は、PC をリブートすることで動作する場合があります。

- IP アドレス を指定します。
- TCP/IP ポート番号 を指定します。
- ゲートウェイアドレスが必要な場合は、ゲートウェイアドレスを指定します。
- サブネットマスクの設定が必要な場合は、サブネットマスクを設定します。
- 接続モードを **ServerMode** モードに設定します。
- RS232C 通信速度を **9600** に設定します。

```

<<<<< Current Configuration >>>>>
<<< Ethernet >>>
< IP Address >      < Net Mask >      < Gateway Address >
xxx.xxx.xxx.xxx    255.255.255.0      0.0.0.0
< Connect Mode >   < TCP Port Num. >   < Inactivity >
Server Mode      nnnnnn             180
<<< RS-232C >>>
< Baud Rate >      < Bit >      < Parity >      < Signal ER >   < Signal RS >
9600                8          None          ON           ON
< Flow Control >   < Delimiter >   < Delimiter Code (hex) >
None                None

```

#### 6.3.2 接点入力ユニットで使用する場合

##### (1) ネットワークに接続して設定する場合

直接 Windows に接続する場合は、10BASE-T クロスケーブルで接続します。HUB に接続する場合は、10BASE-T ストレートケーブルで接続します。コントロールパネルの「ネットワーク」から「プロトコル」を選択し、TCP/IP プロトコルプロパティを開き、デフォルトゲートウェイを Windows の IP アドレスと同じにします。telnet でコンバータの標準 IP アドレスでコンバータにログインします。コンバータの標準 IP アドレスは、取り扱い説明書を参照してください。

##### (2) RS232C に接続して設定する場合

Windows の RS232C とコンバータの RS232C とをクロスケーブルで接続します。後面の MODE 設定スイッチを” CON” にしてターミナルソフトでログインします。ターミナルソフトの通信速度は、19200bps に設定します。設定終了後は、後面の MODE 設定スイッチを” NOM” にします。

### (3) 設定内容

#### ● 接点入力ユニットを「ポーリングモード」で使用する時の設定内容

コンバータの設定では、次の項目を設定します。設定情報を下に示します。設定の操作方法について取り扱い説明書を参照してください。

- IP アドレス を指定します。
- TCP/IP ポート番号 を指定します。
- ゲートウェイアドレスが必要な場合は、ゲートウェイアドレスを指定します。
- サブネットマスクの設定が必要な場合は、サブネットマスクを設定します。
- 接続モードを **ServerMode** モードに設定します。
- RS232C 通信速度を **9600** に設定します。

```

<<<<< Current Configuration >>>>>
<<< Ethernet >>>
< IP Address >      < Net Mask >      < Gateway Address >
xxx.xxx.xxx.xxx    255.255.255.0      0.0.0.0
< Connect Mode >    < TCP Port Num. >    < Inactivity >
Server Mode        nnnnn             180
<<< RS-232C >>>
< Baud Rate >      < Bit >      < Parity >      < Signal ER >    < Signal RS >
9600                8          None          ON            ON
< Flow Control >    < Delimiter >    < Delimiter Code (hex) >
None                None

```

● 接点入力ユニットを「イベントモード1」で使用するときの設定内容

コンバータの設定では、次の項目を設定します。設定情報を下に示します。設定の操作方法について取り扱い説明書を参照してください。

- IP アドレス を指定します。
- TCP/IP ポート番号 を指定します。
- ゲートウェイアドレスが必要な場合は、ゲートウェイアドレスを指定します。
- サブネットマスクの設定が必要な場合は、サブネットマスクを設定します。
- 接続モードを **ClientMode** モードに設定します。
- サーバーアドレスに接点入力監視機能を使用する TELstaff AE Professional Edition/AE Standard Edition の IP アドレスを指定します。
- RS232C 通信速度を **9600** に設定します。

```

<<<<< Current Configuration >>>>>
<<< Ethernet >>>
< IP Address >      < Net Mask >      < Gateway Address >
xxx.xxx.xxx.xxx    255.255.255.0      0.0.0.0
< Connect Mode >    < Server Address >    < TCP Port Num. >    < Inactivity >
Client Mode        xxx.xxx.xxx.xxx      nnnnn             180
<<< RS-232C >>>
< Baud Rate >      < Bit >      < Parity >      < Signal ER >    < Signal RS >
9600                8          None          ON            ON
< Flow Control >    < Delimiter >    < Delimiter Code (hex) >
None                None

```

● 接点入力ユニットを「イベントモード2」で使用するときの設定内容

コンバータの設定では、次の項目を設定します。設定情報を下に示します。設定の操作方法について取り扱い説明書を参照してください。

- IP アドレス を指定します。
- TCP/IP ポート番号 を指定します。
- ゲートウェイアドレスが必要な場合は、ゲートウェイアドレスを指定します。
- サブネットマスクの設定が必要な場合は、サブネットマスクを設定します。
- 接続モードを **DemandMode** モードに設定します。
- RS232C 通信速度を **9600** に設定します。

```

<<<<< Current Configuration >>>>>
<<< Ethernet >>>
< IP Address >      < Net Mask >      < Gateway Address >
xxx.xxx.xxx.xxx    255.255.255.0      0.0.0.0
< Connect Mode >    < TCP Port Num. >    < Inactivity >
Demand Mode        nnnnn             180
<<< RS-232C >>>
< Baud Rate >      < Bit >      < Parity >      < Signal ER >    < Signal RS >
9600                8          None          ON            ON
< Flow Control >    < Delimiter >    < Delimiter Code (hex) >
None                None

```



## 6.4 ネットワーク対応型パトランプの設定

ネットワーク対応型パトランプ（PHN-3FB, PHN-R）の設定方法を以下に示します。

### 6.4.1 ファームウェアの更新

製造元より最新のファームウェアが提供されていますので最新のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

### 6.4.2 設定方法

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-3FB/PHN-R）を使用するには、IP アドレスや通信ポートなどの設定が必要です。次の手順で IP アドレスや通信ポートなどの必要な項目を設定してください。設定終了後は、動作モード設定スイッチを 0（運転モード）に設定してください。

#### (1) 初期設定ネットワークへの接続

RS-232C-Ethernet コンバータ（PHN-3FB/PHN-R）を使用するネットワークに接続するために PHN-3FB/PHN-R の初期設定を行います。初期設定方法は、付属の取り扱い説明書を参照してください。

#### (2) 「PHN Manager」のインストール

付属の「PHN Manager」をパソコンにインストールします。インストール方法は、取り扱い説明書を参照してください。

#### (3) 設定

PHN Manager を使用するか、又は telnet を使用して次の項目を設定します。PHN Manager の使用方法や telnet による設定方法については、付属の取り扱い説明書を参照してください。

設定項目	設定内容
ユニット IP	使用する IP アドレス
ユニットポート	使用するポート番号
サブネットマスク	サブネットマスク
通信監視	「無」
接続切替	「有」

## 6.5 NH シリーズパトランプの設定

NH シリーズパトランプ（NHL-5FB1, 他 NHx-yFB1(x には L, P, S のいずれか, y には 1~5 いずれかの数字が入ります)）の設定方法を以下に示します。各項目での操作・設定方法は、パトランプ付属の取扱説明書を参照してください。

### 6.5.1 ファームウェアの更新

製造元より最新のファームウェアが提供されていますので最新のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

### 6.5.2 設定方法

NH シリーズパトランプ（NHL-5FB1, 他 NHx-yFB1）を使用するには、IP アドレスや通信ポートなどの設定が必要です。次の手順で IP アドレスや通信ポートなどの必要な項目を設定してください。設定終了後は、パトランプを再起動させてください。

## 6. その他のセットアップ

### (1) 設定

NH シリーズパトランプ（NHL-5FB1, 他 NHx-yFB1）を使用するネットワークに接続するために、Web ブラウザを使用して次の項目を設定します。

「システム設定」にて設定する内容は以下のとおりです。

設定項目	設定内容
IP アドレス	使用する IP アドレス
サブネットマスク	TELstaff では使用しませんが、設定は必須です。
ホスト名	TELstaff では使用しませんが、設定は必須です。

「ソケット通信設定」にて設定する内容は以下のとおりです。

設定項目	設定内容
プロトコル	TCP
ポート番号	使用するポート番号

## 6.6 ISA 社製信号灯の設定

ISA 社製信号灯を使用する場合、その設定方法を以下に示します。各項目での操作・設定方法は、機器の取扱説明書を参照してください。

### 6.6.1 ファームウェアの更新

製造元より最新のファームウェアが提供されていれば最新のファームウェアにアップデートすることをお勧め致します。

### 6.6.2 設定方法

ISA 社製信号灯を使用するには、IP アドレスなどの設定が必要です。次の手順で必要な項目を設定してください。

#### (1) 設定

ISA 社製信号灯を使用するネットワークに接続するために、Web ブラウザを使用して次の項目を設定します。（DN-1500GX を例に以下記載いたします。）

「LAN 設定」にて以下の設定項目を設定します。

設定項目	設定内容
IPv4 アドレス	IP アドレス

TELstaff では必須ではありませんが、コマンド実行用パスワードを使用する場合、「コマンドアクセス設定」にて以下の設定項目を設定します。

設定項目	設定内容
ユーザ名	RSH アクセスユーザ名
コマンドパスワード	有効化

## 6.7 トリガフォンのご使用準備

ご購入後は、デュープスイッチを下表のように設定してください。工場出荷状態では、下表に設定されています。詳しくは、取り扱い説明書を参照してください。

TP1000	TP1000/Ⅱ※1
デュップスイッチ(DSW)の1番スイッチを OFF(下)	デュップスイッチ 1(DSW1)の1番スイッチを ON(上)
設定は必要ありません	デュップスイッチ 2(DSW2)の8番スイッチを ON(上)

※1：TP1000/ⅡをTP1000モードを使用する場合は、デュップスイッチ2の5番スイッチ(DSW2-5)をOFF(下)にして使用してください。

トリガフォンとモデムを同じ公衆回線を使用するときは、モデムは発信専用で使用してください。モデムの設定を受信または受発信で使用されますとトリガフォンへの発信ができなくなります。

携帯電話で受信するとき、場合によってはリングバックトーン検出時間を長めに設定する必要があります。設定方法については、TriggerPhone (TP1000)または、TriggerPhone (TP1000/Ⅱ) USER'S MANUAL を参照ください。

なお、トリガフォンが使用できない場合は次に原因が考えられます。

1. (TP1000/Ⅱの場合)デュップスイッチ1の1番スイッチ(DSW 1-1)がOFF(下)になっている。  
(TP1000の場合)デュップスイッチの1番スイッチ(DSW-1)がON(上)になっている。
2. 電話通知ファイルのファイル拡張子が、tp 以外である。
3. RS232C と接続するケーブルが、クロスケーブルでないか、またはRS232C が使用できない。
4. ハードウェアフロー制御を使用できないRS232C インターフェースカードを使用している。この場合、ハードウェアフロー制御を使用しないカスタマイズが必要です。  
(UNIX)
5. 電話回線をモデムとトリガフォンで共用する場合は、モデムの属性を「受信」または「受発信」で設定している。
6. Windows のRS232C プロパティでフロー制御を設定している。フロー制御は、(なし)に設定してください。
7. トリガフォンの通信速度設定が9600 bps 以外である。出荷時の初期設定は9600 bps です。

## 6.8 接点入力ユニット (PW-501) のご使用準備

TELstaff AE Professional Edition 05-05 以降で、シスメックス R A 株式会社製の接点入力ユニット (PW-501) を使用する場合は、事前に IP アドレスなどの初期情報を設定しておく必要があります。その上で PC と WWW ブラウザを使用して接点入力ユニットに接続し、WWW ブラウザに表示される[アプリケーション動作パラメータの設定、参照]ー[接点入出力転送設定]の項目から下記事項を設定します。

設定変更は、PC とシリアル接続、または、ネットワーク接続して行います。接点入力ユニットの取扱説明書をご参照下さい。下記の設定が TELstaff と連携する際に必要な設定になります。なお、[アプリケーション動作パラメータの設定、参照]ー[シリアル転送設定]の[自ポート番号]と、[アプリケーション動作パラメータの設定、参照]ー[接点入出力転送設定]の[自ポート番号]は、異なるポート番号を指定してください。

### ポーリングモードの場合

設定項目	設定内容
接続方法	サーバ
自ポート番号	機器の待ち受けポート番号
入力データ定期通報	0

## 6. その他のセットアップ

### イベントモード 1 の場合

設定項目	設定内容
接続方法	クライアント
宛先 IP アドレス	TELstaffPC の IP アドレス
宛先ポート番号	接点入力監視で設定したポート番号
クライアント接続	常時接続
無通信監視タイマー	0
入力データ変化通報	有効
入力データ通報マスク	(有効)監視接点に 1

### イベントモード 2 の場合

設定項目	設定内容
接続方法	クライアント
宛先 IP アドレス	TELstaffPC の IP アドレス
宛先ポート番号	接点入力監視で設定したポート番号
クライアント接続	通信時接続
無通信監視タイマー	通信切断タイマー(秒)
入力データ変化通報	有効
入力データ通報マスク	(有効)監視接点に 1

## 6.9 メッセージ表示ボードのご使用準備

### (1) AC 電源コードの接続

メッセージ表示ボード背面の端子台カバーを取り外し、端子台の「AC100V」の端子台ねじ（2箇所）に電源コードを取り付けてください。

### (2) 設定スイッチの変更

メッセージ表示ボード背面の端子台カバーを取り外し、設定スイッチ 2（DSW2）の 7 を ON 状態にしてください。設定スイッチの操作方法は、メッセージ表示ボード付属の取り扱い説明書を参照してください。

### (3) メッセージ表示ボードの接続

メッセージ表示ボードのシリアルポートと Windows パソコンのシリアルポートを RS-232C クロスケーブルで接続してください。

### (4) 「VM-WinR」のインストール

付属の「VM-WinR」を、メッセージ表示ボードを接続したパソコンにインストールします。インストール方法は、メッセージ表示ボード付属の取り扱い説明書を参照してください。

### (5) 初期設定データの作成

VM-WinR を使用して次の登録プロジェクトを作成してください。VM-WinR の使用方法については、メッセージ表示ボード付属の取り扱い説明書を参照してください。

VM-WinR のタブ名称	設定項目	設定内容
「プロジェクト情報」	表示器名称	「VM(S)96A-108TE」
	プロジェクト名	(任意の名称)
	用途設定	「情報板」
	動作モード	「通信モード」
	動作方式	「VSN 準拠」 「固定アドレス」
「通信詳細設定」	受信方式	「ENQ+ID+ESC+MODE+Ax+Dx+CR」
	返信方式	「ACK or NAK」
	送信方式	「STX+ID+Dx+CR+ETX」
	読み出し/出力モード	「読み出し」
「通信ポート設定」	ボーレート	「9600bps」
	ストップビット	「1」
	データ長	「8」
	パリティ	「なし」

## (6) 初期設定データの送信

以下の通信設定のもと、VM-WinR を使用してデータをメッセージ表示ボードに送信してください。VM-WinR の使用方法については、メッセージ表示ボード付属の取り扱い説明書を参照してください。

設定項目	設定内容
通信ポート	(任意のポート名)
ボーレート	「38400」
ストップビット	「1」
データ長	「8」
パリティ	「偶数」

## (7) 設定スイッチの戻し

メッセージ表示ボード背面の端子台カバーを取り外し、設定スイッチ 2 (DSW2) の 7 を OFF 状態にしてください。設定スイッチの操作方法は、取り扱い説明書を参照してください。

## (8) コンバータの設定

メッセージ表示ボードをネットワーク接続する場合はコンバータ (IT-C10RE または PHN-S) が必要です。コンバータの設定方法は、「6.3 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- IT-C10RE」または「6.2 RS-232C-Ethernet コンバータの設定- PHN-S」以下を参照してください。

## 6.10 UNIX/Linux で RS232C を使用する場合の準備

モデム、トリガフォン、リレー制御器を RS232C に接続する場合、接続する RS232C が getty プロセスなど他のプロセスで使用していないかを確認ください。他のプロセスで使用中ですと、接続する RS232C を TELstaff で使用できませんので、他のプロセスを停止させてください。

UNIX では、RS232C の出力が特殊なものがあります。この場合、コンピュータメーカー純正のインターフェースケーブルを併用してください。

UNIX では、ご使用する RS232C インターフェースカードがハードウェアフロー制御を使用できないものがあります。ハードウェアフロー制御を使用できない RS232C インターフェースカードを使用しますと TELstaff は、RS232C との通信ができません。この場合、次の手順で TELstaff の設定情報を変更してください。

1. TELstaff をインストールします。
2. /usr/lib/TELstaff/ ディレクトリ下にある .config ファイルの最終行に次のパラメ

## 6. その他のセットアップ

タを追加してください。

CTS_control 0[改行]
-------------------

## 3. TELstaff デーモンを起動（再起動）します。

RS232C の動作検証方法などの詳しいことは、TELstaff の Web サイトの「技術情報」メニューをご覧ください。

## 7. メッセージ

CD-ROM から UNIX/Linux 対応製品をインストールする場合に表示されるメッセージを示します。

ERROR: Because of different system, it is unable to intall.	システムが違うためインストールできません。
ERROR: Failed installing TELstaff. code=エラー情報 1 subcode=エラー情報 2	TELstaff のインストールに失敗しました。
ERROR: Getting OS information failed. Stop installing.	OS 情報の取得に失敗したためインストールを中止します。
ERROR: The Install Key Code which you've input is wrong. Please check it again.	プロダクトキーが不正です。
ERROR: Unable to make system environment. Stop installing. code=エラー情報 1 subcode=エラー情報 2	システム環境の作成ができないためインストールを終了します。
Starting install. Please input the Install Key Code.	TELstaff のインストールを開始します。プロダクトキーを入力してください。
Which you are going to install of TELstaff Product will be automatically selected by your input Install Key Code.	入力したプロダクトキーによって、インストールする TELstaff 製品が自動的に選択されます。

《他社所有名称に対する表示》

UNIX は、X/Open Company Limited がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。  
Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。  
Motif は、Open Software Foundation, Inc. の商標です。  
OSF/1, OSF/Motif, Motif は、Open Software Foundation, Inc. の商標です。  
Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。  
X Window System は、米国 X Consortium, INC. が開発したソフトウェアです。  
X/Open は、X/Open Company Limited の英国ならびに他の国における登録商標です。  
HP は、米国 Hewlett-Packard Company の会社名です。  
HP-UX は、米国 Hewlett-Packard Company のオペレーティングシステムの名称です。  
Sun は、米国での米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。  
Solaris は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商品名称です。  
Solaris 対応製品には、米国サン・マイクロシステムズ社が著作権を有している部分が含まれています。  
Solaris 対応製品には、ユニックス・システム・ラボラトリーズ社が著作権を有している部分が含まれています。  
SCD 適合ロゴを含むすべての SPARC 商標は、米国における米国 SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems, Inc. が開発したアーキテクチャに基づくものです。  
Microsoft® は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。  
Windows Server 2003(R), Windows Vista(R), Windows Server 2008(R) は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
HP Software および HP Network Node Manager software は、米国 Hewlett-Packard Company の米国および他の国々における商品名称です。  
JP1/Cm2 は、株式会社日立製作所の商品名です。  
TriggerPhone, トリガフォンは株式会社 アパール長崎の商品名称です。  
IT-C10RE は、株式会社日立製作所（旧 日立インフォメーションテクノロジー）の商品名です。  
PHN-3FB, PHN-R, PHN-S は、株式会社パトライトの商品名です。  
TELstaff, TELstaff Enterprise は株式会社日立ソリューションズの登録商標です。  
ボイスソムリエ マリアージュ ランタイムは、株式会社日立ソリューションズ・ビジネスの登録商標です。  
LifeKeeper は、サイオステクノロジー社の登録商標です。  
NHL-5FB1, NHL-4FB1, NHL-3FB1, NHL-2FB1, NHL-1FB1, NHP-5FB1, NHP-4FB1, NHP-3FB1, NHP-2FB1, NHP-1FB1, NHS-5FB1, NHS-4FB1, NHS-3FB1, NHS-2FB1, NHS1FB1 は、株式会社パトライトの商品名です。



---

## お問い合わせ

---

ご購入後のお問い合わせは、日立ソリューションズ@Service24 サポートサービスをご購入し、ユーザー登録されましたお客様に限ります。ユーザー登録の方法は、「日立ソリューションズ@Service24 サービス利用ガイド」を、お問い合わせを含むサポートサービスの内容につきましては、「TELstaff 製品サポートサービス実施要領」をそれぞれご覧ください。

また最新情報やアップデート情報などは、日立ソリューションズ@Service24 Web サイトでご提供いたします。定期的に関覧ください。

**@Service24 Web サイト**      <https://service24.hitachi-solutions.co.jp>